

令和 7 年度第 1 回下松警察署協議会会議録

開催日時		令和 7 年 7 月 2 2 日（火） 午後 3 時 3 0 分から午後 5 時までの間
開催場所		下松警察署 3 階 講堂
出席者	公安委員会	今村公安委員長
	協議会	内富委員、笠谷委員、片山委員、武居委員、爲國委員、 山根委員 <div style="text-align: right;">計 6 人</div>
	警察署	署長、次長、警務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備課長 <div style="text-align: right;">計 9 人</div>
議題		1 業務説明 2 協議 匿名・流動型犯罪グループによる犯罪から県民を守るための対策
<p>1 会長挨拶</p> <p>大変お忙しい中お集まりいただき、感謝申し上げます。</p> <p>また、本日は、公安委員会から今村公安委員長にご臨席をいただいております、この場をお借りして、御礼を申し上げます。</p> <p>令和 7 年度第 1 回協議会の開催にあたり、下松警察署の方々には、安全で安心なまちづくりのために、日々ご尽力されていることに対して、厚く御礼申し上げます。</p> <p>この春の人事異動で署長を始め幹部の方々の半数以上が替わられており、また、協議会委員も私を含めて 6 人全員が初めて委員となり、この会議に出席している。</p> <p>何分にも不慣れなことが多い状況であるが、下松署の協議会委員として、新たな体制と気持ちで、警察署の活動に少しでも協力していけるよう努めていく所存である。</p> <p>今回の会議の諮問事項は、「匿名・流動型犯罪グループによる犯罪から県民を守るための対策」についてである。</p> <p>このようなグループによる犯罪は、これまでに無かった新たな犯罪の形態の一つであり、うそ電話詐欺などと同様に大きな社会問題となっている。</p>		

諮問事項の内容については、後程、担当課長の方から詳しくご説明いただけるということなので、委員の皆様は忌憚のないご意見、ご提言をいただきたい。
以上、簡単ではあるが、私の挨拶とさせていただきます。

2 署長挨拶

※省略

3 公安委員長挨拶

本日は、下松警察署協議会に同席させていただくこととなった。

公安委員会は、警察の組織と思われることがあるが、県知事から任命された3名の民間人で構成されており、県警察を管理監督する立場にある。

そして警察署協議会については、本年6月1日付けで、ここにおられる委員皆様を含め、公安委員会の委嘱により、2年間の活動をお願いしている。

警察署協議会制度は平成13年に始まり、今年で24年目になる。

今回下松警察署協議会において委員の皆様全員が替わられたということは、これまでの前例を踏襲しなくても良いというメリットがある。

より良い下松市にしていくために、下松市のことを一番よく知っておられる協議会委員の皆様は忌憚のないご意見やご提言をお願い申し上げる。

4 業務説明

業務説明資料を示して内容を説明した。

- (1) 刑法犯認知状況
- (2) 特殊詐欺認知状況
- (3) ストーカー・DV事案認知状況
- (4) 児童虐待事案認知状況
- (5) 非行少年検挙・補導状況
- (6) 110番とリスポンスタイム
- (7) 交通事故発生状況
- (8) 警察安全相談受理状況

5 諮問事項

「匿名・流動型犯罪グループによる犯罪から県民を守るための対策」について生活安全課長が資料を基に説明した。

6 協議

(委員)

被害防止対策として、私方で設置しているナンバーディスプレイ付の電話機は、着信時に「迷惑電話です」と知らせ、後に番号が表示されるようになっている。

このような機能のある電話機を高齢の方に勧めるのも手立てではないか。

携帯電話についても、着信時に迷惑電話という表示が出る機能があるので、その表示の有無を確認してから電話に出るようにしている。

(委員)

警察の方には、色々な活動をしていただき感謝している。

夕方の情報番組で、山口県警察がY o u T u b e で詐欺被害防止についての動画を配信していると知り、今までであれば動画を見ようとはしなかったが、今回協議会委員になったこともあり、動画を見てみた。

山口県警察の動画か否かは憶えていないが、8分くらいの長めの動画であり、短い動画であれば飽きずに見ることができると思う。内容はロールプレイングのような寸劇の動画であり、興味を持って見たとしても、3分くらいが限界に思えた。

知らない人たちの演じている姿を見続けることは難しい。

例えば、山口県出身の芸人さんなどに出演していただくと、より多くの人が見てくれるのではないだろうか。

また、高齢の方は、余程興味のある人しかY o u T u b e を見ないと思われるので、是非「見える活動」をしてほしいと普段から思っていたところ、先週、山口市内のスーパーに行くと、入口で警察官5名程度とボランティアと思われる方々が詐欺被害防止に関するチラシを配っていた。本日持参してきたが、このようにチラシ等が手元にあると、「気を付けなければいけない」という意識を持ちやすい。

先日、自宅に交番の広報紙が回覧で回ってきて、その中でも詐欺被害防止の広報がなされていたので、こういった活動は継続してもらいたい。

どういった人が詐欺に遭いやすいか、警察で分析しているのではないかと思うが、心理的アプローチとして、チェックリスト等を作成していただき、「何個該当すれば詐欺の被害に遭いやすい」といった注意喚起をするものがあれば被害防止につながると思うがいかがか。

また、私が仕事で電話する時に気を付けていることは、受話器を耳に当てて会話をすると、話している相手と近い感覚になり、話の内容を客観的に判断できなくなったり、冷静になれなくなったりするので、スピーカー機能を利用して会話をしている。

このように具体的な方法を示す機会があれば良いのではないだろうか。

(委員)

先程の詐欺被害防止のチラシは、下松警察署の会計課窓口にも置いてあった。

(会計課長)

落とし物の窓口には、高齢者の方々も多く来られるので、来庁者があったときには、併せて詐欺被害防止について説明させていただいている。

7 業務説明に対する質疑応答

(委員)

歩行者が横断歩道手前で立っているのに、「停止する」ことを知らない高齢者の方が多いように思う。

私も会合等で説明をしているが、やはり徹底されていないように見受けられるため、高齢者の方に向けての教養をお願いしたい。

(委員)

下松署管内で薬物関連の事案はあるのか。

(署長)

取扱は少ないと考える。

(委員)

万引きについては、スーパー等で多く発生しているのか。

(署長)

件数であれば、スーパーやコンビニ等での発生がかなり多い。

(委員)

最近は、お金を持っているのに万引きをする高齢者がいるようだが、なぜだろうか。

(署長)

「誰も見てなければ気付かれない」という感覚が働くのか、他の犯罪に比べるとハードルが低く、実行しやすいと考える人がいるのではないかと思われる。

(委員)

子供の場合は、ゲーム感覚で考えているのではないだろうか。

(委員)

詐欺の話に関係するかも知れないが、相談事があった際、「警察官の〇〇さんに話を聞いてもらいたい」というような人間関係作りが一番大切なのではないかと思う。

ところで、警察官が戸別訪問をしていると聞いたが、私方には来ないのだろうか。

(地域課長)

下松市内全てに受持区というのが決められており、地域課の担当警察官が割り振られている。

事案対応等もあり、いつでも行けるとは限らないが、実態把握のため受持の警察官が戸別訪問を実施している。

(委員)

相談できる警察官がいれば、何か変わったことがあれば情報を伝えやすく、警察官に聞かれたことも答えやすいかと思う。警察からすれば、検挙率に関わるわけではないので、なかなか厳しいことだと承知している。

(委員)

以前、児童虐待関連業務に関わっていたことがあるが、現在でも児童虐待の件数が増加しているのだと感じた。

(委員)

交通状況が危険だと感じる場所があるので、是非立哨をしてほしい。

場所は、みほり峠東側の点滅信号が設置してある交差点で、東進する車両が一時停止せずに通行することが多い。

カラー舗装になり、止まる車も増えたようであるが、やはり警察官が立っている方が、皆が注意して進行すると思う。

(交通課長)

交通実態や事故発生状況に配慮しつつ、警ら活動等を通じて違反があれば検挙や警告等を行うことで対応を進めていきたい。

8 公安委員長講評

今回の会議は今年度初めての開催であったが、会長の進行により協議会委員の全員が想いを発言されており、非常に良いことだと感じた。

警察側に言えることであるが、協議会委員からの質問を課題あるいは提言として受け止め、しっかりと回答をすることが重要である。しかし、質問に対して返答していくことは難しいことでもあるので、質問する側の協力も必要である。

先程話があったが、警察が戸別訪問をしていることが市民に伝わっていないのであれば「地域ごとに一月に〇件の戸別訪問を実施している」というような具体的な理由を伝えると良いと感じた。

また、警察の業務範囲は幅広くなっていることから、この場で出た事項について可能な限り説明をし、協議会委員の方に警察の苦労を理解していただくことで、より有意義な会議となっていくのではないかと思います。

9 配布資料

令和7年度第1回下松警察署協議会資料

10 監察関係事案説明

令和7年3月及び5月における警察職員の懲戒処分事案について説明した。